

雇用対策 一刻も早く

日本共産党県委員会と党県議団申し入れ



申し入れする(左から)本報書記長、笹山県議団副団長、ゆり子県議、左藤衆院比例候補＝10日。

厚労省通達の立場で 雇用維持を企業へ求めよ

日本共産党山形県委員会と党県議団は19日、県に対して、「雇い止めの防止と雇用対策強化の緊急申し入れをいたしました。

内容は、労働者派遣法の抜本改正を固に求めることなどを含めて、8項目です。

笹山県議団長は、厚労省が9日に各県労働局長に出した通達の観念に立ち、異が非正規社員の解雇・人員削減の緊急美態調査をおこなうこと、

「雇い止め」を中止し、雇用維持の努力をする

また、「内定取り消し」の防止と職を失った人への対策、中小企業支援もあつて、再就職支援について、自治体でどこまでできるか困難なところもあるが、公的な雇用も含めて検討したい。就職する人の職業訓練や企業の要も聞きながら対処していきたい」と答えました。

また、「内定取り消し」の防止と職を失った人への対策、中小企業支援もあつて、再就職支援について、自治体でどこまでできるか困難なところもあるが、公的な雇用も含めて検討したい。就職する人の職業訓練や企業の要も聞きながら対処していきたい」と答えました。

また、「内定取り消し」の防止と職を失った人への対策、中小企業支援もあつて、再就職支援について、自治体でどこまでできるか困難なところもあるが、公的な雇用も含めて検討したい。就職する人の職業訓練や企業の要も聞きながら対処していきたい」と答えました。

また、「内定取り消し」の防止と職を失った人への対策、中小企業支援もあつて、再就職支援について、自治体でどこまでできるか困難なところもあるが、公的な雇用も含めて検討したい。就職する人の職業訓練や企業の要も聞きながら対処していきたい」と答えました。

12月県議会

働く若者に希望を 少子・高齢化対策特別委員会

12日の少子高齢化対策特別委員会的主眼は、少子高齢社会に対応した人材育成と雇用機会の確保でした。

私は、「内定取り消しや非正規労働者の雇い止めが大きな問題となっていて、職場に出たばかりの若者が働くルルルや労働者の権利について知らないことが多い」となつた時の対応に困る場合がある。せめて県内の高校を卒業する生徒に

「働く者のルルル」のよきものを発行できないのか」と発言している。私は、「発行している。県が増えている」とも指摘して質問した。

私は、「内定取り消しや非正規労働者の雇い止めが大きな問題となっていて、職場に出たばかりの若者が働くルルルや労働者の権利について知らないことが多い」となつた時の対応に困る場合がある。せめて県内の高校を卒業する生徒に

私は、「内定取り消しや非正規労働者の雇い止めが大きな問題となっていて、職場に出たばかりの若者が働くルルルや労働者の権利について知らないことが多い」となつた時の対応に困る場合がある。せめて県内の高校を卒業する生徒に

私は、「内定取り消しや非正規労働者の雇い止めが大きな問題となっていて、職場に出たばかりの若者が働くルルルや労働者の権利について知らないことが多い」となつた時の対応に困る場合がある。せめて県内の高校を卒業する生徒に



2008年12月28日 第56号

発行 日本共産党県議会議員 渡辺ゆり子
連絡先 日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241
自宅 山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

ゆり子の 視点

福祉現場で働く人たちの 苦悩

19日 福祉保育働組
合の方々の要請に同席
しました。

定数や人員配置が定められ、予算が限られているなかでの苦しさです。要請に出席するのさえも、時間のやりくりを苦勞としていました。

福祉現場で働く人々とともに知恵を出し合い、施策に反映させていく努力がいつそう必要とされていることを痛感しました。

福祉現場は大変な忙しさで、日々の仕事に目の前のことに精一杯のところがあるので、これからは現場の声を大切にしたいと、現場に届ける役割を果たしていきたいと思つています。

「働く者のルルル」のよきものを発行できないのか」と発言している。私は、「発行している。県が増えている」とも指摘して質問した。

私は、「内定取り消しや非正規労働者の雇い止めが大きな問題となっていて、職場に出たばかりの若者が働くルルルや労働者の権利について知らないことが多い」となつた時の対応に困る場合がある。せめて県内の高校を卒業する生徒に

08年議会活動へのご協力
ありがとうございます。
09年もがんばりますので、
よろしくお願ひいたします。